国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.
Press Release

令和５年４月４日
国土交通省関東地方整備局
利根川上流河川事務所

令和５年度 利根川上流河川事務所 主要事業

～利根川の洪水氾濫を未然に防ぐため、堤防や調節池の整備等を推進します～

令和５年度利根川上流河川事務所主要事業の概要をお知らせいたします。

利根川は、首都圏を擁した関東平野を貫流し、氾濫時には日本全体に影響を与える甚大な災害となる恐れがあります。利根川上流河川事務所では、利根川の洪水氾濫を未然に防ぐため、「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」※を活用しながら、令和元年東日本台風においても効果を発揮した堤防や調節池の整備等の取組を推進していきます。

令和５年度には、事務所内に流域治水課を設置し、これまで以上に、地域のあらゆる関係者と連携・協働して、流域治水の取組を推進していきます。

令和５年度の主要事業概要は、以下のとおりです。

１．首都圏氾濫区域堤防強化対策（茨城県・埼玉県） 別紙１
２．利根川左岸築堤（茨城県・群馬県・埼玉県） 別紙２
３．稲戸井調節池整備（茨城県） 別紙３
４．田中調節池整備（千葉県） 別紙４
５．河川防災ステーション整備（茨城県）、水防拠点整備（栃木県） 別紙５
６．河川管理施設の維持管理 別紙６

※令和２年 12 月 11 日に閣議決定され流域治水対策・施設の老朽化対策・インフラＤＸ等を令和３年度から令和７年度までの５年間に重点的・集中的に実施するもの

＜発表記者クラブ＞
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会

＜問い合わせ先＞
国土交通省　関東地方整備局　利根川上流河川事務所
電話：０４８０－５２－３９５２（代表）　FAX：０４８０－５２－３９７９
副所長　：　近藤（こんどう）　誠　（まこと）　（内線：２０４）
計画課長　：　宮﨑（みやざき）　達也（たつや）　（内線：２６１）

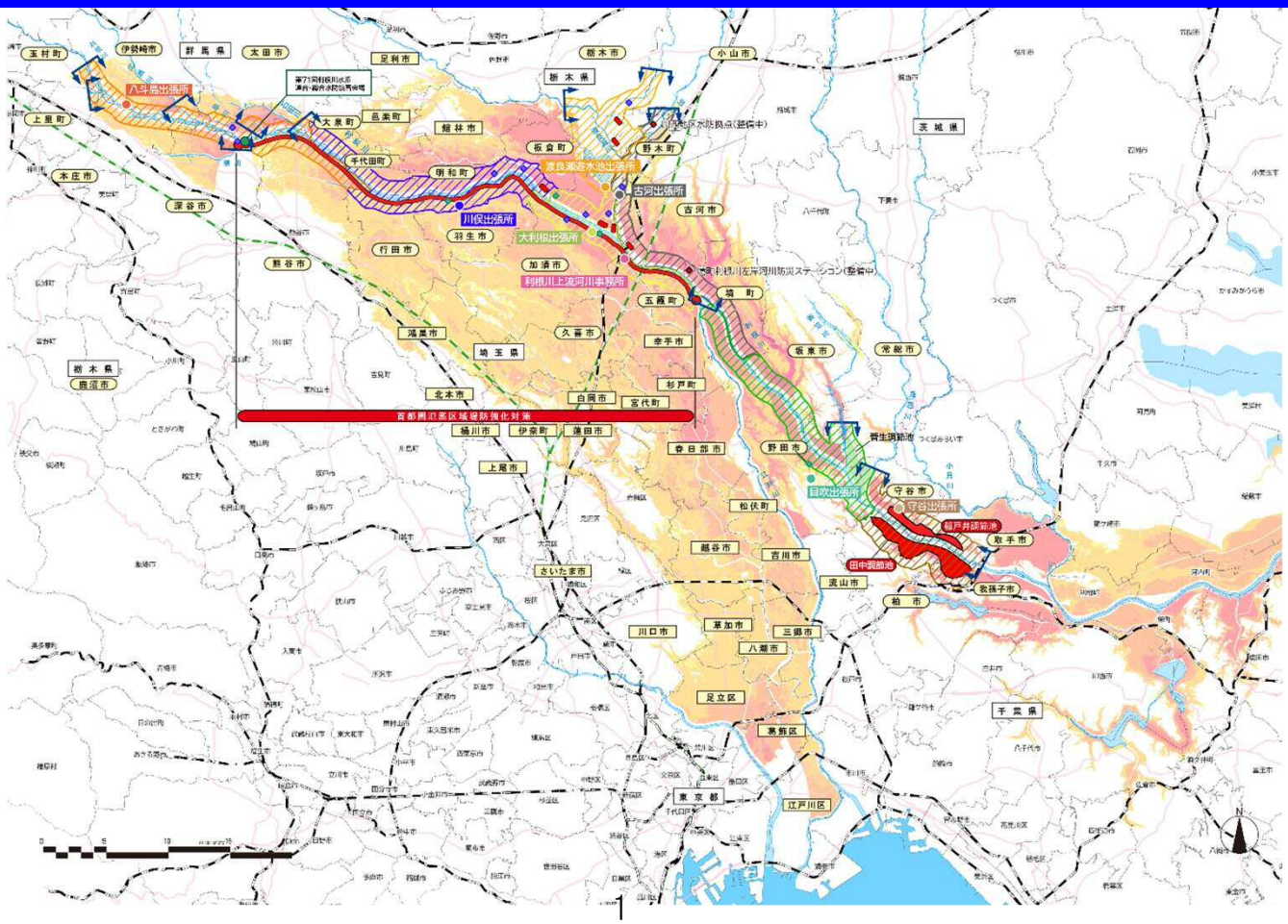
令和5年度　利根川上流河川事務所　事業費

単位：百万円

予　算　項　目	令和5年度	令和4年度			当初予算比較 (R5/R4)
	当初予算	当初予算	補正予算※1	最終	
河川整備事業費	10,696	9,960	4,238	14,198	1.07
河川改修費	6,988	6,339	3,235	9,575	1.10
一般改修	5,928	6,225	3,235	9,460	0.95
一般改修（大規模）	1,060	114	－	114	9.29
河川維持修繕費	2,642	2,556	782	3,338	1.03
河川工作物関連応急対策事業費	33	30	－	30	1.10
堰堤維持費	1,033	1,035	220	1,255	1.00
都市水環境整備事業費	－	331	－	331	－
河川都市基盤整備事業費	－	331	－	331	－
合　計	10,696	10,291	4,238	14,529	1.04

※上記のほか、諸費等があります。
※端数は、それぞれ、百万円単位で四捨五入しているため、一致しないものがあります。
※1　防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

主要事業実施位置図



首都圏氾濫区域堤防強化対策

1. 事業の概要

利根川上流部の右岸堤防において洪水時に決壊が発生した場合、その氾濫流は埼玉県内に留まらず東京都内まで達します。この氾濫流がもたらす広範囲の壊滅的な被害や、首都機能の麻痺による影響は全国に及ぶ恐れがあります。

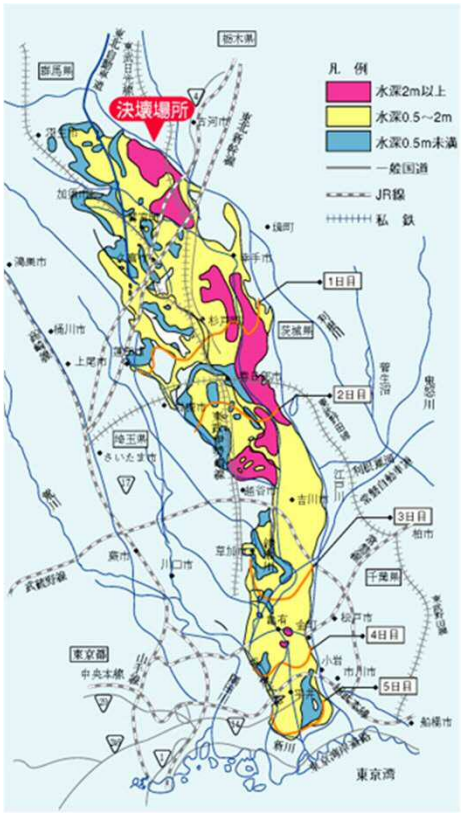
現在の堤防は、近年の洪水においても漏水がしばしば発生するなど、洪水に対する安全性が必ずしも十分とは言えません。

このため、堤防の断面を拡幅し、洪水時の水の浸透に対する安全性を向上させる「首都圏氾濫区域堤防強化対策」を推進しています。

下流区間（Ⅰ期）については令和5年度に概成させ、Ⅱ期区間と合わせた一連区間の早期完成を目指します。

いばらきけん　ごかまち
茨城県　五霞町

さいたまけん　くきし　かぞし　はにゅうし　ぎょうだし
埼玉県　久喜市、加須市、羽生市、行田市



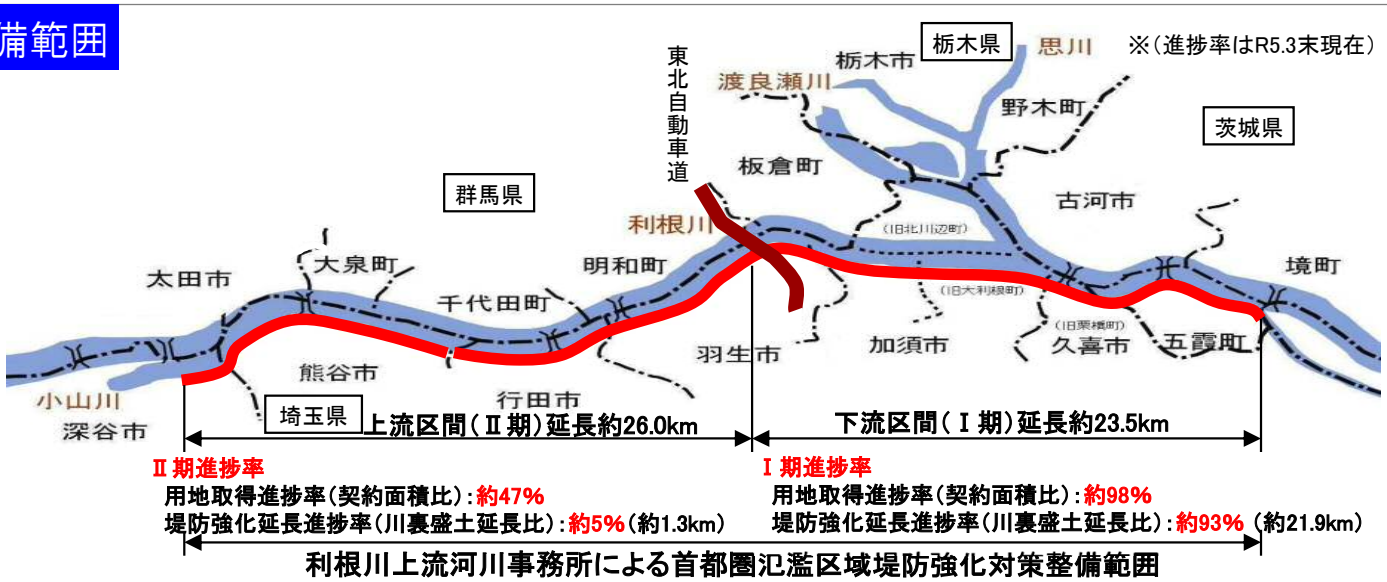
S22カスリーン台風時の
洪水氾濫実績図

首都圏氾濫区域堤防強化対策整備状況（埼玉県久喜市栗橋北地先）

2. 令和５年度の予定

五霞町から羽生市までの用地取得が完了した箇所において、堤防の盛土工事や水路や道路の付け替え工事を実施するとともに、用地取得を進めていきます。

整備範囲

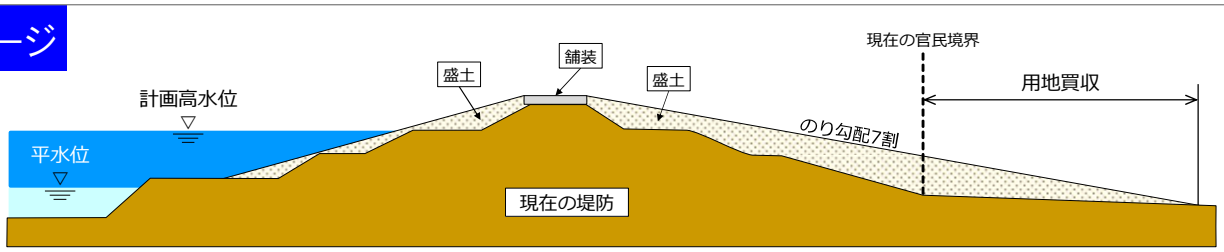


Ⅱ期進捗率
用地取得進捗率（契約面積比）：約47%
堤防強化延長進捗率（川裏盛土延長比）：約5%（約1.3km）

Ⅰ期進捗率
用地取得進捗率（契約面積比）：約98%
堤防強化延長進捗率（川裏盛土延長比）：約93%（約21.9km）

利根川上流河川事務所による首都圏氾濫区域堤防強化対策整備範囲

整備イメージ



とねがわさがんちくてい
利根川左岸築堤

別紙2

1. 事業の概要

利根川上流部の左岸堤防において決壊が発生した場合、区間によっては湛水深が深く、多数の人命が危険にさらされるなど、地域への甚大な影響が想定されます。

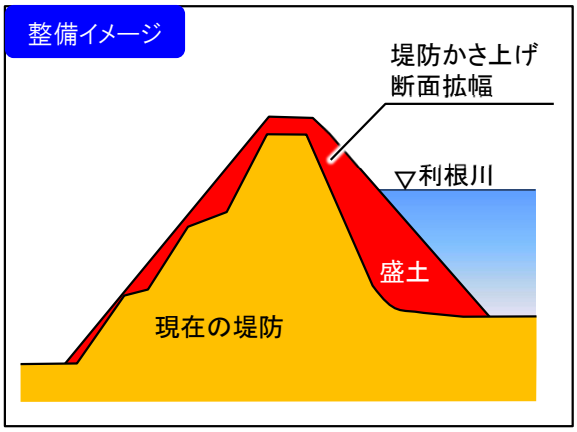
このため、利根川と渡良瀬川が合流する加須市北川辺地区や古河市、板倉町の堤防のかさ上げや拡幅を行い、治水安全度の向上を図ります。

いばらきけん 茨城県　こがし 古河市
ぐんまけん 群馬県　いたくらまち 板倉町
さいたまけん 埼玉県　かぞし 加須市

2. 令和５年度の予定

令和5年度は、古河市中田新田地先、加須市本郷地先、板倉町飯野地先等の堤防整備を進めます。

位置図



川裏断面拡幅・堤防かさ上げ状況

稲戸井調節池整備

別紙3

茨城県 取手市、守谷市

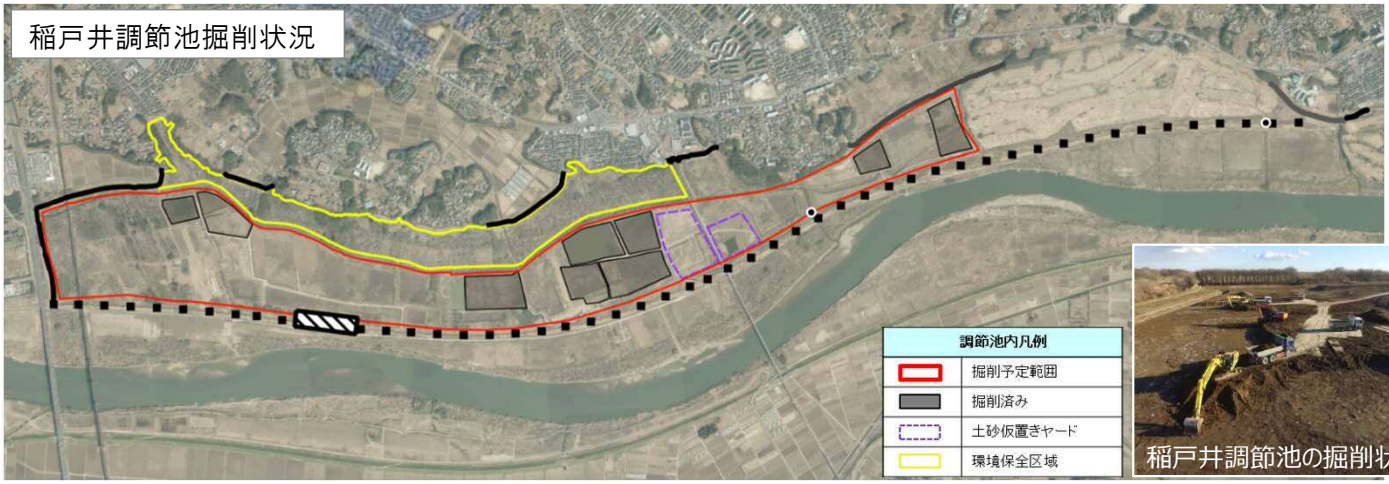
1. 事業の概要

利根川本川と鬼怒川の合流点付近に位置する菅生調節池、稲戸井調節池、田中調節池は、3つの調節池で一体となって洪水を貯留することで、利根川下流域の治水安全度の向上に寄与しています。

稲戸井調節池の洪水調節機能向上のため、調節池内の掘削を実施しています。

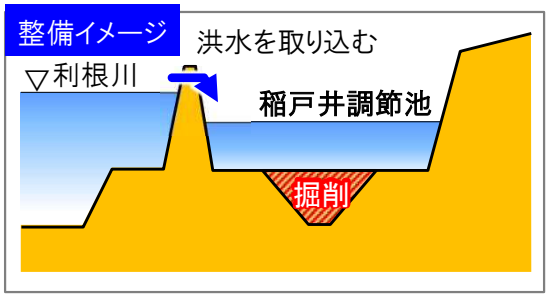
2. 令和５年度の予定

洪水調節容量の更なる増強に向けて調節池内の掘削を進めており、動植物や地下水などの状況を確認しながら、引き続き掘削を進めていきます。



【主な工種の進捗状況】

主な工種	全体計画	R5.3末時点
池内掘削	800万m3	約255万m3
用地・補償	330万m2	約314万m2



流域治水の取り組み～地域との連携事業～

茨城県 守谷市

1. 事業の概要

稲戸井調節池の掘削土を（仮称）守谷SAスマートIC周辺土地区画整理事業の盛土造成や利根川左岸及び鬼怒川左岸の堤防整備、田中調節池の周囲堤及び囲繞堤整備に活用することで、各事業が連携し、当該流域一体となった防災・減災の推進を目指します。

2. 令和５年度の予定

令和5年度は、守谷市野木崎地先の堤防整備のための工事用道路整備を進めます。

田中調節池整備

ちばけん　かしわし　あびこし
千葉県 柏市、 我孫子市

1. 事業の概要

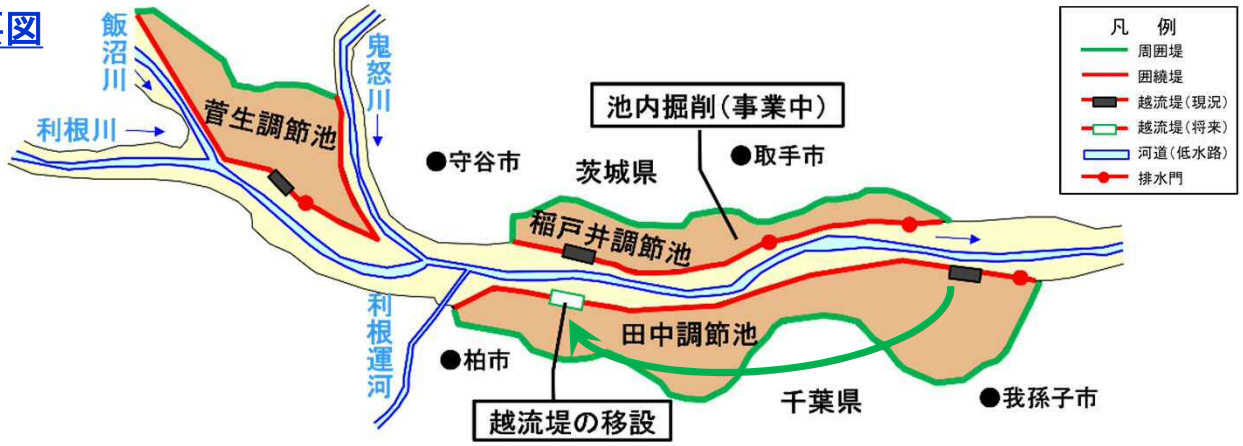
利根川本川と鬼怒川の合流点付近に位置する菅生調節池、稲戸井調節池、田中調節池は、3つの調節池で一体となって洪水を貯留することで、利根川下流域の治水安全度の向上に寄与しています。

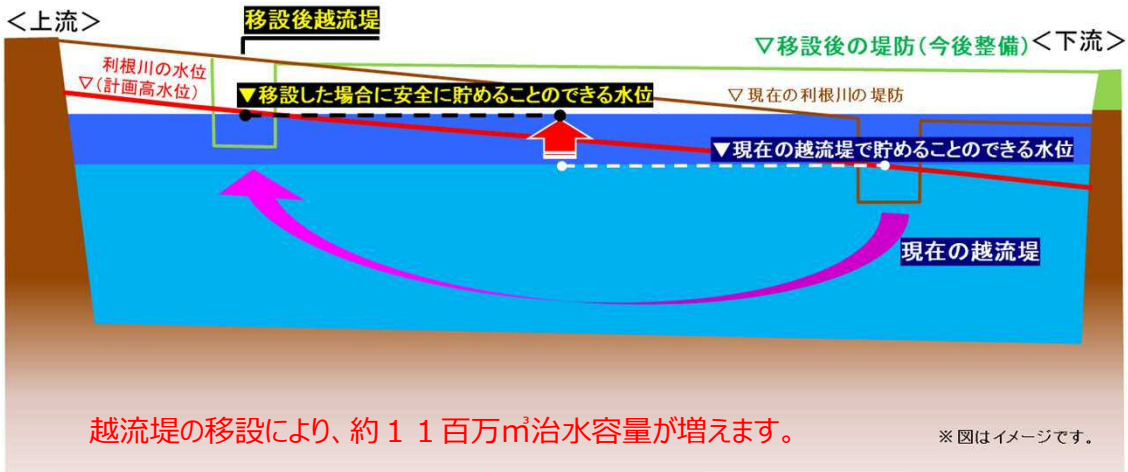
田中調節池の洪水調節機能の向上を図るため、越流堤移設及び調節池の周囲堤および囲繞堤のかさ上げ等を実施します。

2. 令和５年度の予定

令和5年度より事業に着手します。今後、地元調整を重ねながら基礎調査、設計、工事を進めていきます。

事業概要図





調節池の堤防をかさ上げし、あわせて越流堤を約6.2km上流に移設し、調節池の貯留水位を約80cm上げることで洪水調節容量の増加（約1,100万m^3）を図る。

境町利根川左岸河川防災ステーション

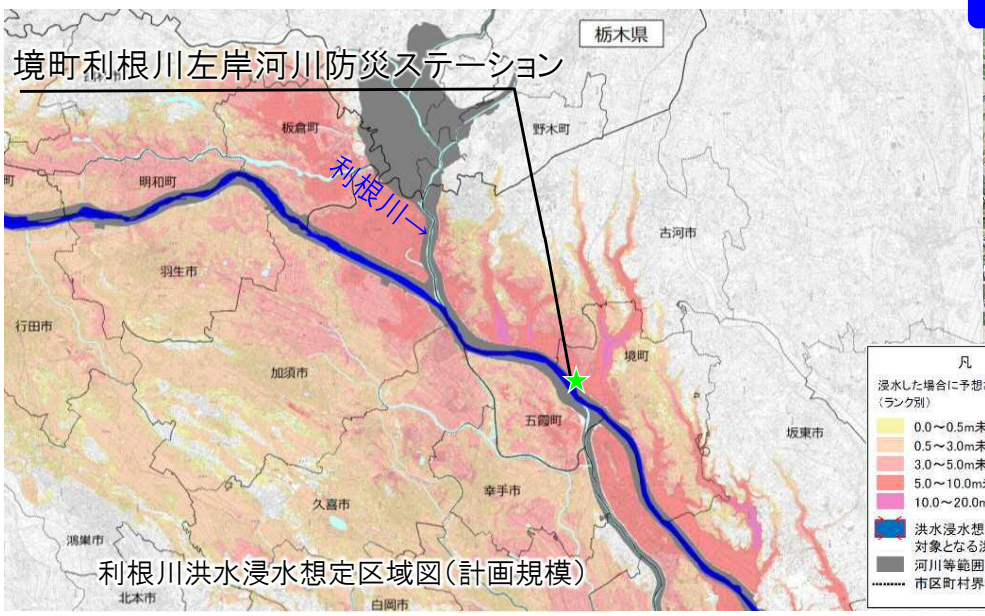
1. 事業の概要

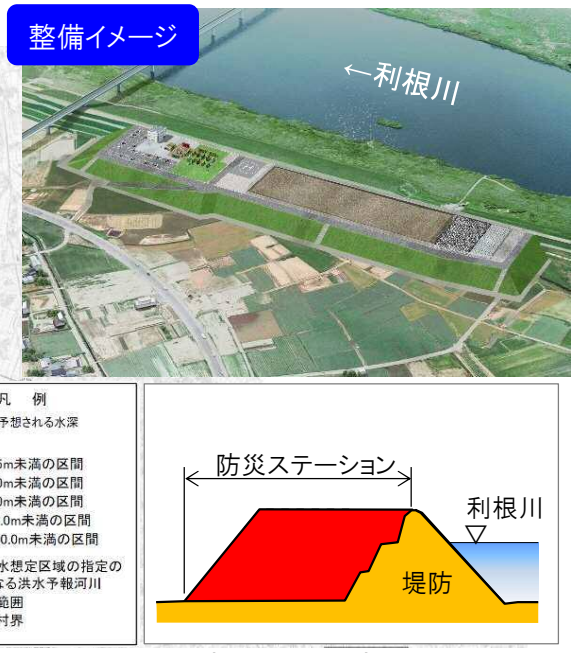
いばらきけん　さかいまち
茨城県　境町

河川防災ステーションは、様々な災害に備え、被災時にすみやかに堤防の復旧などを行うための拠点です。コンクリートブロックや割栗石など復旧に必要な資機材を備蓄するほか、資材の搬出入や建設機械の活動、水防活動に必要なスペース、ヘリポートなどを備え、近隣の方々の非常時の緊急避難場所としての活用も期待されます。令和3年3月18日に境町利根川左岸河川防災ステーション整備計画が登録されました。

2. 令和５年度の予定

令和5年度は境町利根川左岸河川防災ステーションの用地取得を進めるとともに、取得した用地において埋蔵文化財調査を進めていきます。





境町利根川左岸河川防災ステーション整備イメージ

川西水防拠点

1. 事業の概要

とちぎけん　のぎまち
栃木県　野木町

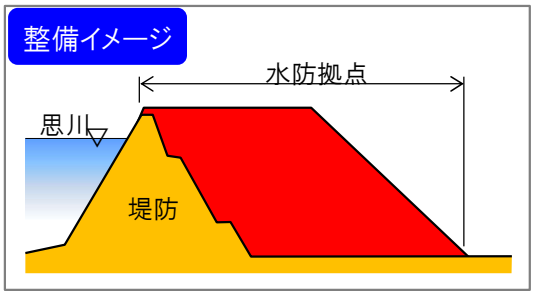
水防拠点は、洪水時に水防活動の拠点となる場所で、水防活動に必要な資材を備蓄するほか、河川防災ステーションと連携して被災時には災害復旧の拠点となります。

栃木県野木町川西地区は、堤防決壊等により河川が氾濫した場合、浸水深が大きく、また、周辺に避難場所も無いことから、人命に関わる被害が生じる恐れがあります。

このため、水防活動や近隣の方々の一時避難場所として活用可能な水防拠点を整備しています。

2. 令和５年度の予定

令和5年度は川西地区水防拠点の盛土を進めます。



川西地区水防拠点
整備箇所

かせんかんりしせつのいじかんり

河川管理施設の維持管理

安心・安全な川づくりをめざし、川が本来持っている治水・利水・環境の機能を保つため、日々の河川管理施設等の維持管理を行っています。

堤防除草と維持補修

堤防除草により堤防の異常を把握しやすくした上で点検等を行い、発見した異常の維持・補修を行います。

（補修事例）
茨城県古河市中田地先の
堤防法面補修工事

令和4年9月に発見した法面変状に対して令和5年1月～3月に補修を行い完了。

堤防については、日常の河川巡視や出水期前・台風期・出水後の堤防点検等により異常の把握を行っています。

河川巡視及び情況把握

河川における利用状況・不法投棄などの違法行為や河川管理施設の異常を発見するため、河川巡視や災害時の情況把握を行います。

機械設備，通信設備の点検・整備

出水時などに河川管理施設や通信設備が正常に作動するように、定期的な点検、補修を行います。

渡良瀬遊水地の運用・維持管理

渡良瀬遊水地の中に設置されたハート型の渡良瀬貯水池は、通称、谷中湖と呼ばれ、治水に加えて利水の機能も備えています。（利水容量：非洪水期（10～6月）2,640万m3 、洪水期（7～9月）720万m3）

渡良瀬貯水池は、利根川上流ダム群と比較して首都圏に近いことから、利根川の流況が一時的に悪化した場合に、速やかに渡良瀬貯水池から放流して改善させる役割があり、上流ダム群と連携しながら効率的で、きめ細かな水運用を実施します。

また、冬期には、貯水池のカビ臭抑制を目的に貯水位を下げて湖底を直接日光にさらす「干し上げ」を例年に引き続いて実施する予定です。干し上げ、ヨシ原浄化施設や谷田川分離施設などにより、貯水池の水質保全対策を引き続き実施します。

令和元年東日本台風時の渡良瀬遊水地
（10月13日16時頃）